

日本労働年鑑 戦後特集(第22集)
The Labour Year Book of Japan post war special ed.

第二篇 労働組合

第二章 主要なる労働組合

42 全日本造船労働組合

全日本造船労働組合(略称全船)

(All Japan Shipbuilding Workers Union : S.W.U)

◇設立 廿一年九月一日

◇組織 本部 東京都中央区月島通一二ノ六

地方協議会(廿三年三月末)

名称	組合員数	名称	組合員数
北海道	3,572	東北	2,747
関東	17,283	北陸	1,774
近畿	20,122	中国	15,739
四国	896	九州	13,000
		計	約80,000

◇役員 委員長 安江 義蔵

副委員長 荻原 佐平

書記長 江原 正

支部・分会

一、〇〇〇以上の経営には支部がおかれ、一、〇〇〇名以下の経営には分会がおかれる。分会は地域毎に集つて支部をつくる

◇行動綱領

一、団体交渉権の確保

二、従業員の経営参加

三、生活費を基準とせる最低賃金制の確立

四、労働権と休養権の確保、七時間労働制の確立

五、失業保険制度の確立

六、賠償による不当解雇絶対反対

七、労働者の一方的犠牲による企業合理化反対

八、文化教育施設の労働者への解放

九、国内労働戦線の統一強化、世界労働組合連盟への参加

特記すべき争議としては、廿二年九月の川南争議がある。

◇なお全船は産別、総同盟にも加盟していないが、全労連の中にあつて、全労連強化を通じての労働戦線統一を提唱して有力な組合である。

日本労働年鑑 第22集／戦後特集

発行 1949年8月15日

編著 大原社会問題研究所

発行所 第一出版

2000年2月1日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 戦後特集(第22集)【目次】 次のページ→ ■
日本労働年鑑【総合案内】

大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
